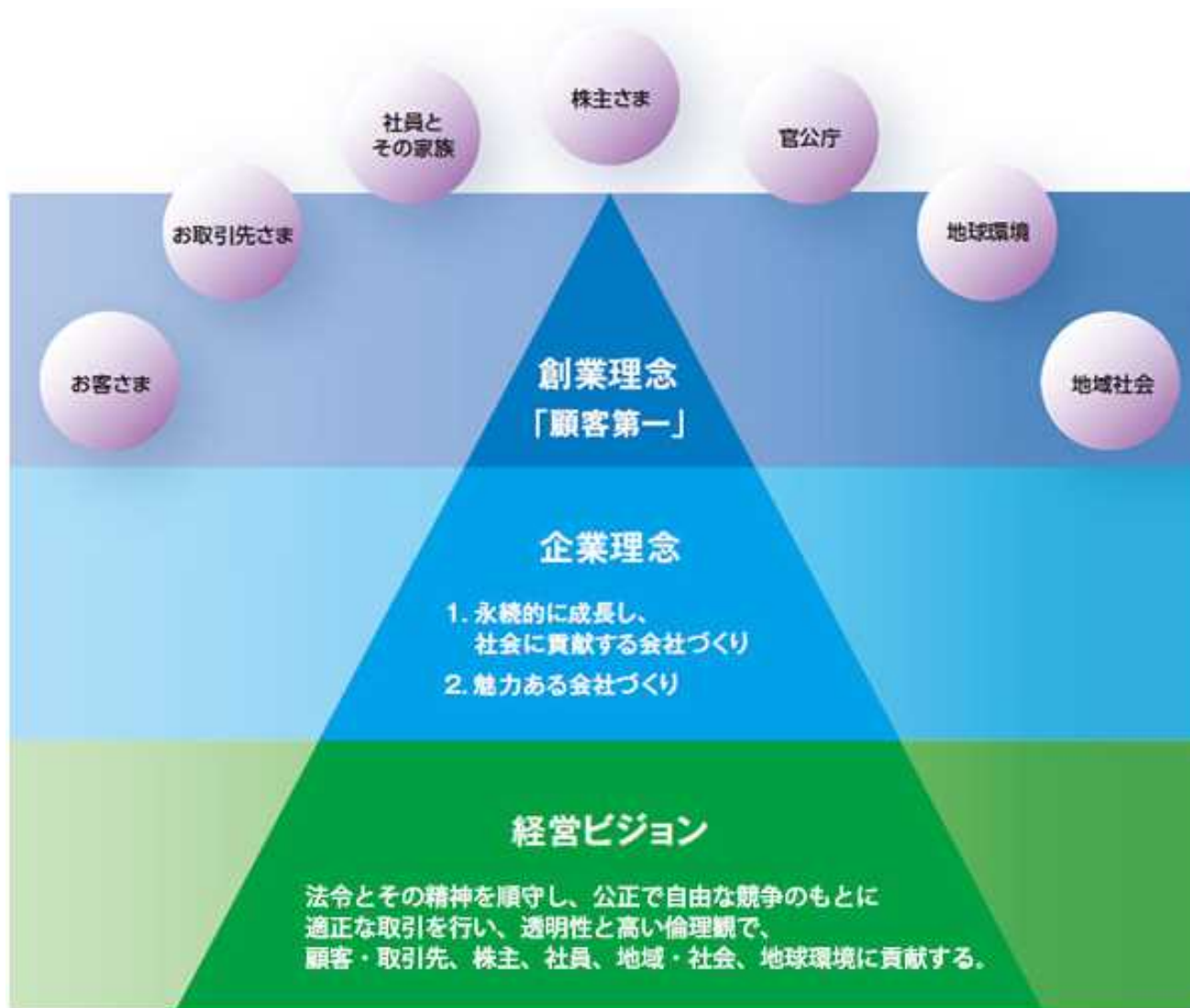




新・中期経営計画のご説明

- ① 理念・ビジョン
- ② 基本方針
- ③ 経営数値目標
- ④ 目標実現のための施策
- ⑤ 前中期経営計画の振り返り

1. 業績数値等は、連結ベースです。
2. 業績予想数値は、発表日現在において、入手可能な情報に基づくものです。
3. 民間設備投資の変動、海外事業展開に伴うリスク、請負工事における瑕疵担保責任、売上債権回収リスク、価格競争激化に伴うリスク、資材価格の変動、資産保有に伴うリスク、退職給付制度に関するリスク、自然災害・事故、法令違反リスク、その他多様なリスクや不確実性を含んでいます。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。



1. 社会のニーズや市場環境の変化に柔軟・迅速に対応し、安定的かつ持続的な成長を図ります。

①

さらなる事業のグローバル化を見据えたコーポレート・ガバナンス体制を構築します。

②

成長が期待される市場や分野への注力と、戦略的な経営資源の配分を行います。

2. すべてのステークホルダーから、高い信頼と評価を得ることを目指します。

①

最適な「技術」「サービス」「コスト」の提供により、顧客の期待と信頼に応えます。

②

環境関連事業を通じて、地球環境保全と顧客の環境価値向上に貢献します。

③

多様な人材が活躍できる職場づくりと、人材力の向上に取り組みます。

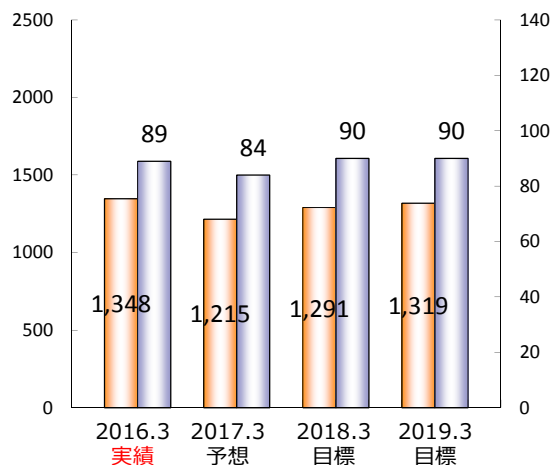
④

ステークホルダーとの対話の推進と、資本効率の向上に努めます。

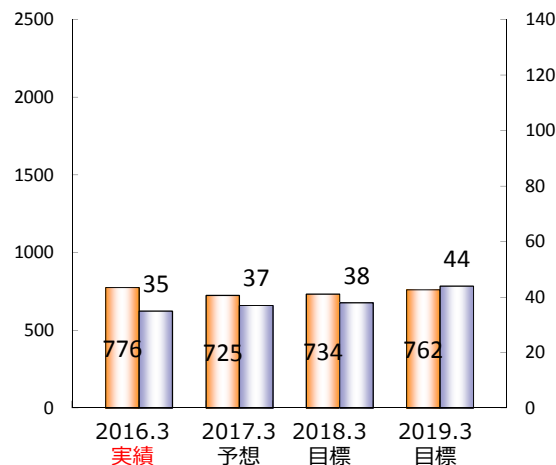
経営数値目標 (連結)

単位：億円

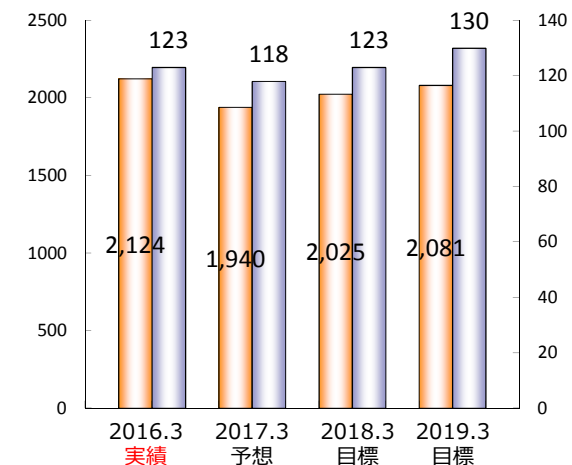
《 環境システム事業部 》



《 塗装システム事業部 》



《 全社 》



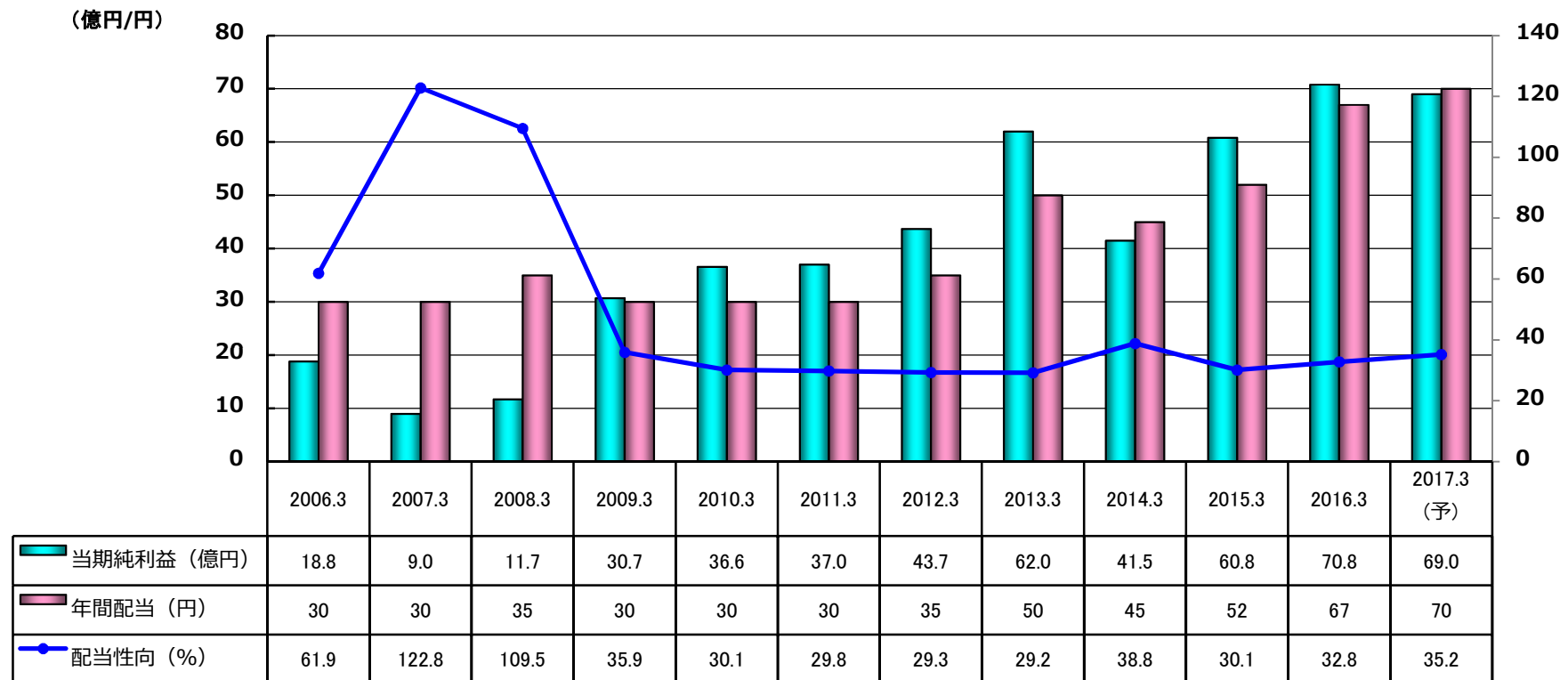
完成工事高(外部顧客への売上高・左軸)

経常利益 (右軸)

(想定為替レート：1USDドル=108円、1ユーロ=122円、1タイバツ=3.06円)
(2016年3月期平均レート：1USDドル=121円、1ユーロ=134.65円、1タイバツ=3.54円)

	2016年3月期 (実績)			2017年3月期(予想)			2018年3月期(目標)			2019年3月期(目標)		
	環境システム事業部	塗装システム事業部	全社	環境システム事業部	塗装システム事業部	全社	環境システム事業部	塗装システム事業部	全社	環境システム事業部	塗装システム事業部	全社
受注工事高	1,327	890	2,217	1,283	719	2,002	1,341	744	2,085	1,379	751	2,130
完成工事高	1,348	776	2,124	1,215	725	1,940	1,291	734	2,025	1,319	762	2,081
営業利益	85	45	127	82	36	111	87	36	116	87	43	123
経常利益	89	35	123	84	37	118	90	38	123	90	44	130
親会社株主に 帰属する 当期純利益	-	-	70	-	-	69	-	-	71	-	-	75

配当性向と自社株取得



- ・連結配当性向35%を目標とし、安定的な配当を実施する。
- ・自社株取得は、資本効率の向上と機動的な財務政策の実現を目的とし、弾力的に実施する。

受注・完成工事高（分野別）

		2016年 3月期 (実績)	2017年 3月期 (予想)	2018年 3月期 (目標)	2019年 3月期 (目標)
受注工事高	ビル空調	437	428	515	534
	産業空調	889	855	826	845
	塗装システム	890	719	744	751
	合計	2,217	2,002	2,085	2,130
完成工事高	ビル空調	436	374	445	423
	産業空調	912	841	846	896
	塗装システム	776	725	734	762
	合計	2,124	1,940	2,025	2,081

(想定為替レート：1USドル=108円、1ユーロ=122円、1タイバツ=3.06円)

(2016年3月期平均レート：1USドル=121円、1ユーロ=134.65円、1タイバツ=3.54円)

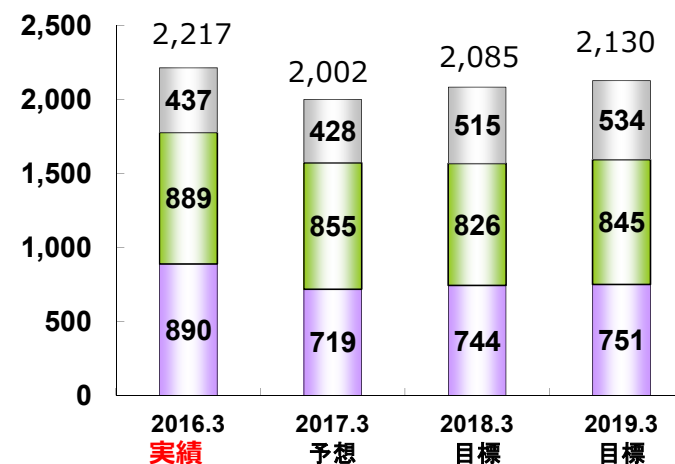
ビル空調

産業空調

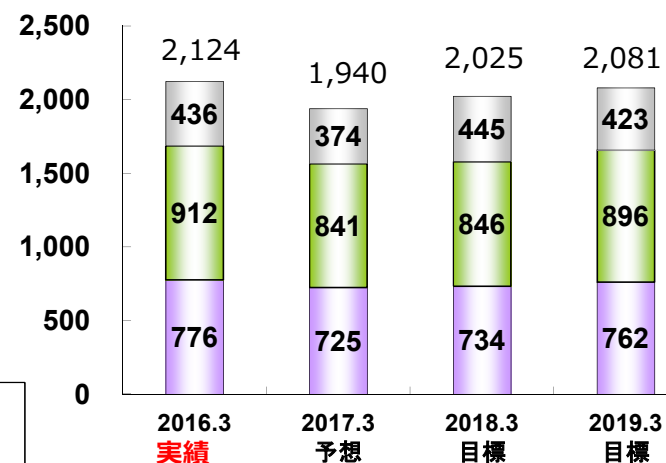
塗装システム

単位：億円

《 受注工事高 》



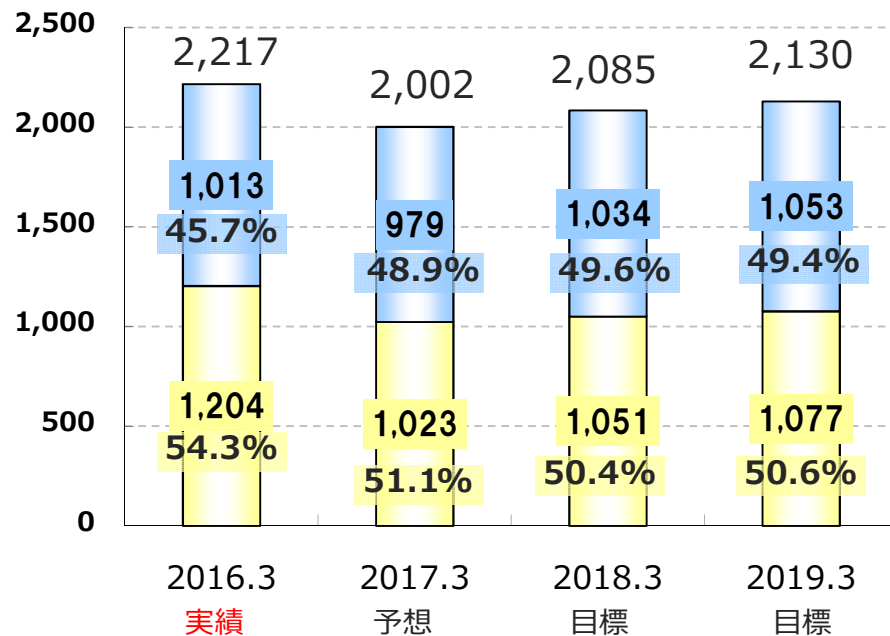
《 完成工事高 》



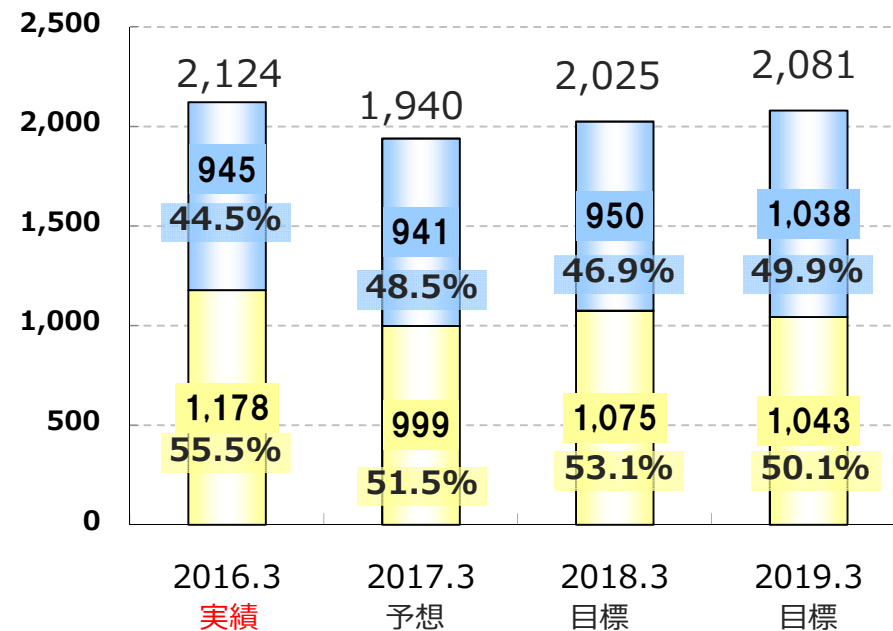
受注・完成工事高 国内外 (全社)

単位：億円

《 受注工事高 》



《 完成工事高 》

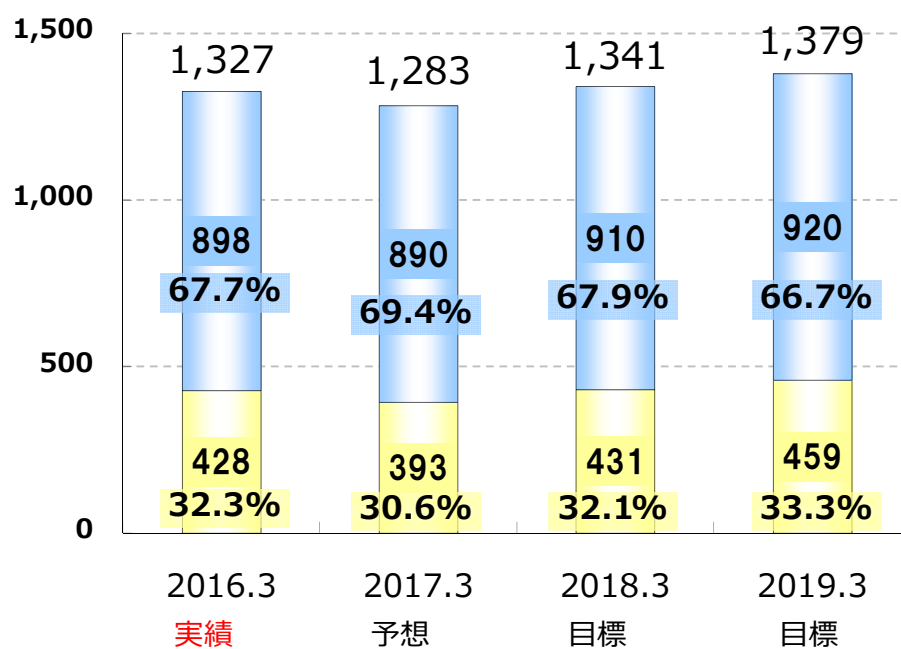


(想定為替レート：1USドル=108円、1ユーロ=122円、1タイバーツ=3.06円)
(2016年3月期平均レート：1USドル=121円、1ユーロ=134.65円、1タイバーツ=3.54円)

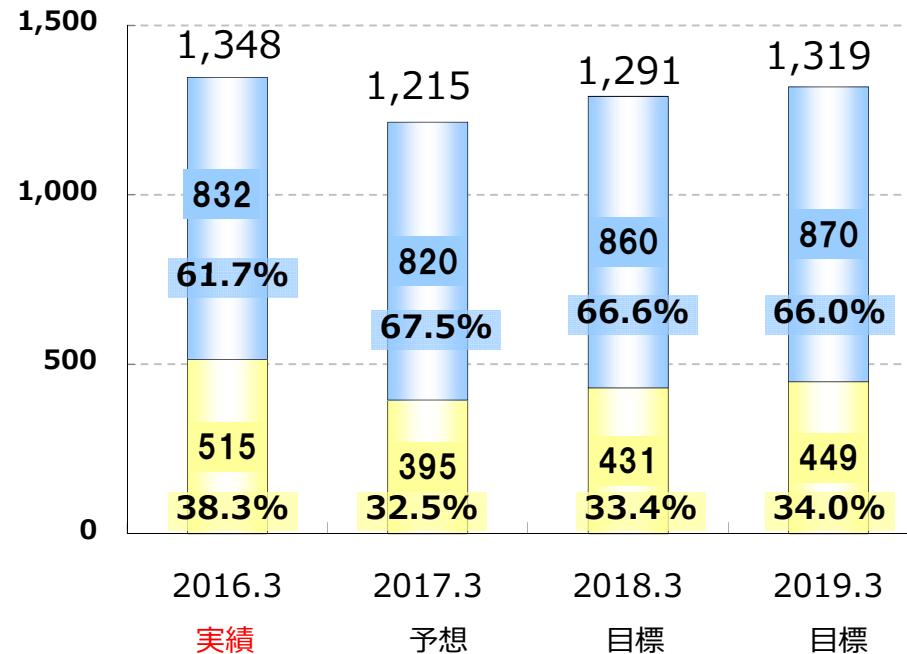
受注・完成工事高 国内外 (環境システム事業部)

単位：億円

《 受注工事高 》



《 完成工事高 》

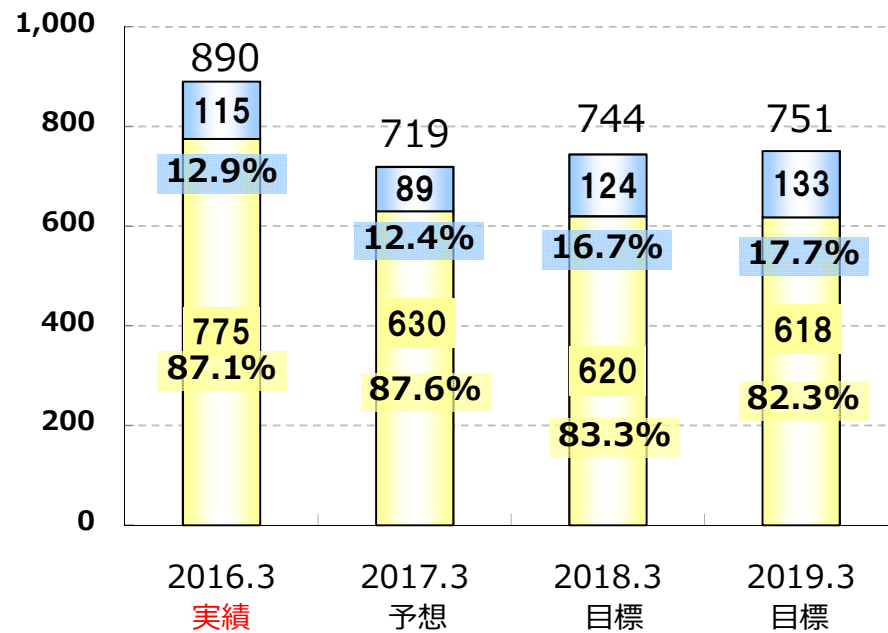


(想定為替レート：1USドル=108円、1ユーロ=122円、1タイバーツ=3.06円)
(2016年3月期平均レート：1USドル=121円、1ユーロ=134.65円、1タイバーツ=3.54円)

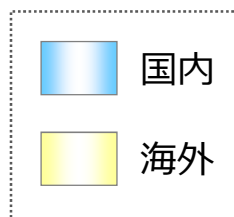
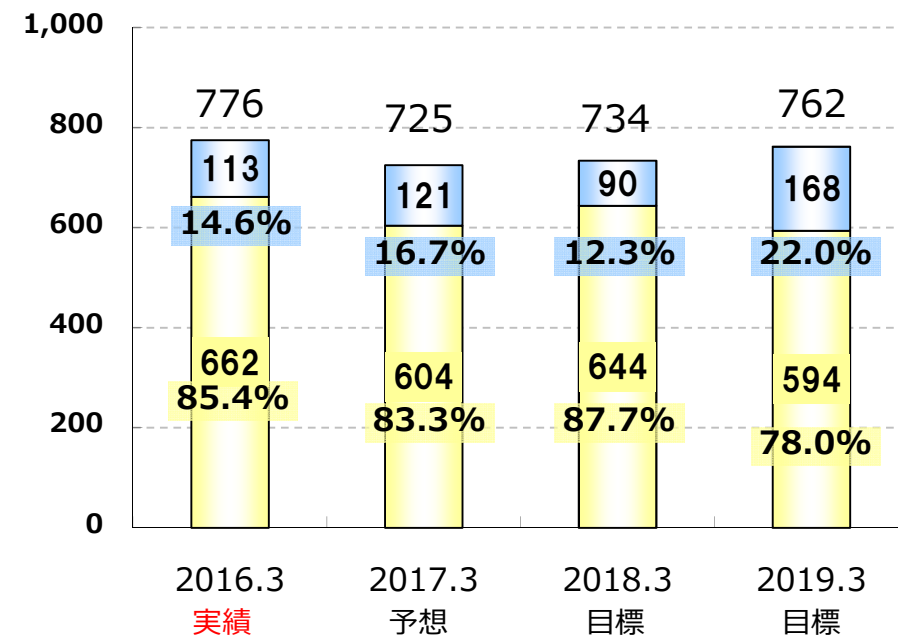
受注・完成工事高 国内外 (塗装システム事業部)

単位：億円

《 受注工事高 》



《 完成工事高 》



(想定為替レート：1USドル=108円、1ユーロ=122円、1タイバーツ=3.06円)
 (2016年3月期平均レート：1USドル=121円、1ユーロ=134.65円、1タイバーツ=3.54円)

環境システム事業 -1-

① 国内事業の拡充

ビル空調、産業空調ともに、投資が伸びる分野への迅速な対応を目指します。特に、時代の要請である省エネルギーで環境負荷を最小にするシステムを追求し、提供していきます。

設備の保守・改善を顧客に積極的に提案することでメンテナンス・リニューアル工事の受注拡大を目指し、経営の安定を図ります。

② 海外事業の拡充

市場経済動向に対応し、経営資源を優先的に配分する成長地域を見定めつつ、当社の強みであるグローバルネットワークをさらに充実させてまいります。

日系顧客のみならず、非日系企業のニーズにも幅広く応えることができる営業と施工の体制づくりを行います。

また、空調事業を核とした周辺領域事業の拡大を目指します。

環境システム事業 -2-

③ 生産性向上と最適なコスト

業務フローと管理体制のグループ内における標準化をさらに進め、設計・施工・コスト・安全の各品質の向上を図ります。

グローバルネットワークを活用し、世界的な視点で、原価のさらなる低減を目指します。

④ 新規事業・環境対応技術のさらなる展開

「完全人工光型植物工場」「過酸化水素を使用した除染システム」「各種実験に対応した環境試験室」等の新規事業における、売上規模の拡大を目指します。

「排気処理装置」や「直膨システム」などの環境対応技術により、世界各地での規制の強化や、省エネルギーへのニーズの高まりに応えます。

塗装システム事業 -1-

① 受注活動の強化

海外グループ会社との連携を通じ、欧米自動車メーカーからの受注拡大を図ります。

自動車塗装工場の周辺技術やノウハウの蓄積を進め、従来にも増してCO₂削減等の環境に配慮した、塗装工場の設計をトータルに提供できるエンジニアリング力の向上を目指します。

今後、増加が見込まれる、スクラップアンドビルド案件、部品塗装案件、既存設備の改造・メンテナンス案件の取り込みの強化も進めます。

② 成長する海外市場向けの体制拡充

成長性が見込まれる市場に対して経営資源を優先的に配分し、より効率的に対応できる組織づくりを行います。

塗装システム事業 -2-

③ 生産性向上と最適なコスト

受注競争のさらなる激化を視野に、最適なコストのための原価低減方策の確実な実施、グローバルな調達・設計体制の構築を進めます。

④ 事業領域の拡大

グループ会社が連携し、国内外において、航空機塗装等、自動車以外の塗装設備事業、新素材に対応する塗装技術、コンベヤシステム等の周辺領域の拡大により、顧客サービス力の充実を図ります。

経営基盤の強化 -1-

① コーポレート・ガバナンス体制のさらなる充実

コーポレートガバナンス・コードの趣旨に則り、取締役会の経営監督機能を着実に高めていきます。また、株主をはじめとするさまざまなステークホルダーとの建設的な対話を積極的に推進するとともに、資本効率を重視した経営の実践に努め、ROE 7～9%の水準確保を目指します。

② グローバルなコンプライアンス体制の強化

グローバルなコンプライアンス体制のさらなる強化を図るとともに、社員一人一人に法令順守の意識を徹底させる活動を継続していきます。

経営基盤の強化 -2-

③ 人材力の向上

新人事制度導入と研修の強化により、社員が自ら専門性を高めていけるキャリアパスの仕組みを整備します。

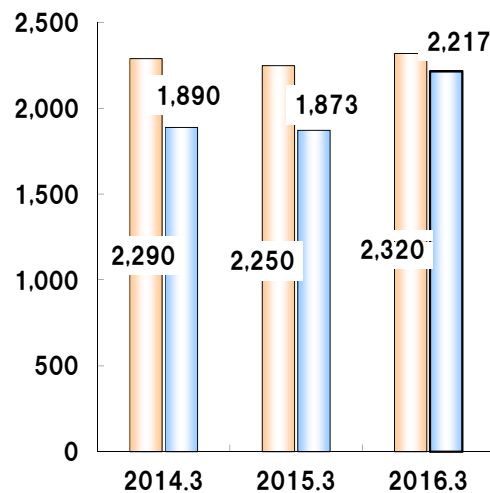
また、社内の異なる経験や、技能、価値観などを融合し、さらなる競争力強化と生産性向上につながるダイバーシティ・マネジメントを積極的に推進します。具体的には、グローバル人事制度の拡充を進め、海外拠点のナショナルスタッフのモチベーション向上や女性活躍推進に注力します。

④ 事業基盤強化のための戦略的な投資

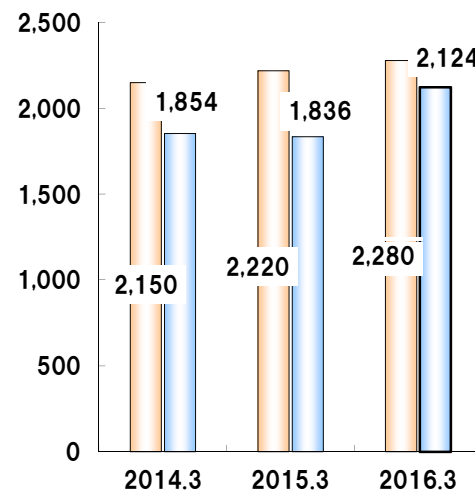
新基幹システムの導入、新規事業分野開拓のための研究開発、財務会計・管理会計インフラの高度化など、中長期的な成長を支える経営インフラ基盤の拡充に尽力します。

前・中期経営計画の目標・実績値比較

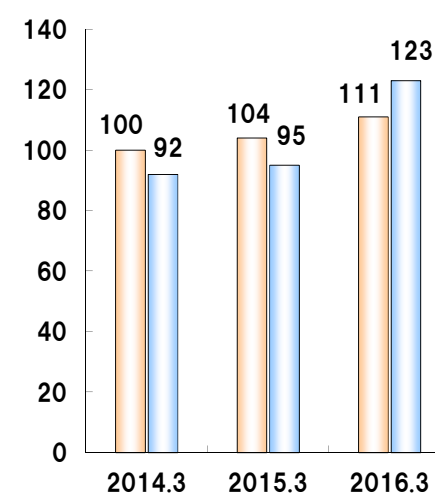
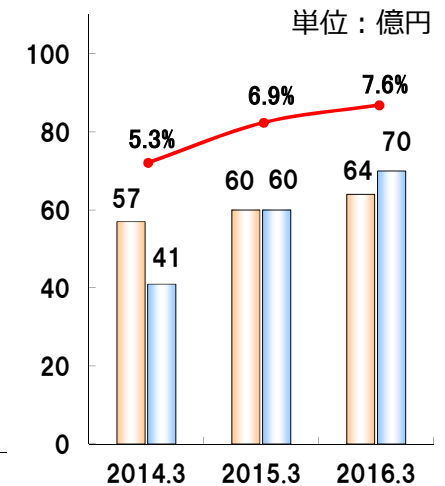
《 受注工事高 》



《 完成工事高 》



《 経常利益 》

《 親会社株主に帰属する
当期純利益・ROE 》

■ 目標値 ■ 実績値 — ROE

**最終年度で、過去最高の受注工事高、経常利益、
および親会社株主に帰属する当期純利益を達成**

環境システム事業

① 成長する海外市場向けの体制拡充

2013年12月 大気社ミャンマー設立

周辺諸国に海外連結子会社を有している優位性を生かし、積極的に営業活動を展開。



大気社ミャンマー開設記念パーティー

② 新規事業の立ち上げ

完全人工光型・水耕栽培植物工場システム
「大気グリーンファーム」

2015年3月、ベトナムにおいて大気社グループにとって初の海外における建設工事を受注。



完全人工光型植物工場

塗装システム事業

① 事業領域の拡大

2014年6月 オンコア社と業務・資本提携

オンコア社の独自技術である航空機自動塗装技術により、事業領域を拡大

《 2015年度実績 》

- オンコア社はアメリカにおいて米系および日系航空機メーカーの案件受注
- シナジー効果として日本において、単体による日系航空機メーカーの案件受注



飛行機自動塗装システム

② 受注活動の強化

- ジェイコ社による成果：ドイツ系メーカーからの受注獲得
《 2014年度実績 》 ブラジル、インドにおける案件受注
《 2015年度実績 》 ドイツにおける案件受注
- オンコア社による成果：北米系自動車メーカーとの取引拡大
《 2014年度実績 》 アメリカにおいて米系メーカーの案件受注

経営基盤の強化

① 事業のグローバル化、市場環境の変化に柔軟に対応できる組織づくり

- **グローバルな決算資料と業務の平準化**
決算プロセスの標準テンプレート作成し、パイロット海外拠点へ展開。
- **国際法務機能強化**
海外法令リスク調査を実施。
- **グローバルな危機管理態勢の構築**
海外赴任・海外出張者向け「海外危機 管理ガイドライン」を策定。

② 人財力の向上

- **グローバル人事制度の導入**
インドとインドネシアに導入。
2016年度はタイへの導入設計を実施し、2017年度には導入予定。
- **グローバルなコンプライアンス体制の強化**
各拠点においてモニタリングなどのコンプライアンス施策を実施。

将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社大気社 管理本部 経理部 広報課

TEL : 03-5338-5052 FAX : 03-5338-5195